

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
地理 歴史	日本史A	2	4	セラミック・デザイン	必修	『日本史A 現代からの歴史』 東京書籍

### 1. 学習の到達目標

近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度 30点	思考・判断 10点	資料活用の 技能・表現 10点	知識・理解 50点
評価の規準	近現代史を中心とする我が国の歴史に興味・関心を持ち、授業に意欲的に取り組み、主体的に参加しようと努力している。	近現代史を中心とする我が国の歴史を多面的に考察し探求するとともに、自ら考え、習得した知識や資料を活用して公正に判断することができる。	必要な資料を収集、整理、選択することができ、読み取ることができる。新聞やテレビ、インターネットなどの情報を活用し、成果を適切に表現できる。	基本的な知識を身に付け、近現代史を中心とする我が国の歴史と動向を客観的に理解することができ、国際社会に生きる日本人として日本の歴史を学ぶ意義を理解している。
評価の方法	出席状況、授業態度、提出物の状況、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

日本史Aでは、主に近現代を中心とした日本の歴史を学習します。  
みなさんの積極的な参加を期待しています。

4. 「日本史A」 年間指導計画

学期	月	時数	項目
前期	4月	1	オリエンテーション
	5月	10	第1章 近代日本の形成 1. 国際情勢の変化と明治維新 2. 明治新政府の諸改革 3. 立憲国家の成立
	6・7月		前期中間考査
	8・9月	10	第2章 東アジア世界の変動と日本 1. 日清戦争と近代社会の確立 2. 日露戦争と帝国日本の形成
			前期期末考査
	後期	10月	8
11月		3. 軍国日本への道 4. 太平洋戦争	
12月		5	後期中間考査
1・2・3月		14	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革 2. 高度経済成長の時代 第5章 現代の世界と日本 1. 国際秩序のゆらぎと経済大国日本 2. 冷戦の終焉と日本
			計 70